

会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成18年度第9回定例会
開催日時	平成18年12月20日（水曜日） 18時30分から20時50分まで
開催場所	田無公民館 第2学習室
出席者	<p>会長：森忠 副会長：濱崎昌子 委員：細井邦夫、浅倉隆壽、柳澤英之、下栗庸隆、富澤佳代子、野間春二、伊波真貴子、武田雅子、石橋いづみ、紺野和子、遠山久敬 職員：相原館長、近藤事業係長、伊佐分館長、山本分館長、玉木分館長、香坂分館長、小林分館長、藤森公民館主事</p>
欠席者	なし
議題	<p>(1) 第8回定例会の記録について (2) 報告事項 1. 行政報告 2. 事業計画・報告書について 3. 公民館だより編集室報告 4. 第44回東京都公民館研究大会の報告 (3) 協議事項 1. 諮問事項について (4) 事務連絡および情報交換 (5) 次回の日程について</p>
会議資料の名称	<p>(1) 事業計画書 1. 親子凧づくり教室 日本の伝統でギネスに挑戦（田無） 2. こども世界料理教室「韓国料理」キムチチヂミ（田無） 3. 働く世代の年金講座 配偶者として知っておくこと（芝久保） 4. 哲学の広場 第5回・第6回（谷戸） 5. 近代建築への案内（谷戸） 6. ワイン入門（谷戸） 7. 日本文学に見る恋と身体（谷戸） 8. 春待ちコンサート（谷戸） 9. 女性のための資産管理入門講座（住吉） (2) 事業報告書 1. 歩く、見る・聞く、そして考える環境体験講座（田無・住吉） 2. 中国通史入門 前近代中国での宗教と政治体制（田無） 3. こども世界料理教室「シンガポール料理」（田無） 4. 熟年夫婦の新しい関係 居心地のいい2人になるには（芝久保） 5. 高齢社会とペット 開業医師の立場から（谷戸） 6. 伝統音楽入門 初めての尺八講座（住吉） 7. 子供いろいろ体験教室「自然の物を使って絵をかこう」（住吉） 8. 子供手話講座 手と手でひろがるすてきなせかい（ひばり）</p>

	9. 健康講座「ナチュラルヨーガ」(ひばり)
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>(1) 第8回定例会の記録について ※記録について確認</p> <p>(2) 報告事項</p> <p>1. 行政報告</p> <p>○館長： 市議選を前にして、第4回定例市議会を1ヶ月前倒しして開催した。公民館に関する一般質問、議案や請願も提出されなかった。 駅前公民館の実施設計会社がようやく決まった。株式会社タムラ建築設計事務所という会社が落札した。 19年度当初予算の概要だが、現時点で3億1千万余円の要求をしている。新公民館の内装工事費等があるために相当の増になっている。 12月13日に予定されていた、社会教育委員との会議であるが、既報のとおりで、先方の都合により中止になった。</p> <p>○委員： 19年度予算の要求だが、新公民館建築関係を除いた部分の増減はあるのか。</p> <p>○館長： 内装工事費を除くと微増である。</p> <p>2. 事業計画・報告書について</p> <p>○会長： 事業計画書について意見を聞く。</p> <p>○委員： 田無公の凧づくりだが、ギネスに挑戦というタイトルは、本気なのか、タイトルのみのことなのか。谷戸の近代建築への案内の江戸建物園の入園料を教えてほしい。芝久保公の年金関係の講座は、大変タイムリーな内容で評価したい。もっと多くの人数を受け入れることはできないのか。谷戸公のワイン講座の説明欄の言葉遣いは「啓発」ということにした方がいい。</p> <p>○職員： ギネスに挑戦は、あくまでタイトル上のことである。世界記録の1万7千の連凧はとても無理な数字だ。ドラえもんの図柄の凧を用意して楽しみたい。</p> <p>○委員： 私は、建物園の友の会に入会している。友の会に入会していると、入園料は無料になる。通常大人は400円で、65歳以上は200円に割り引かれる。</p>	

○委員：

凧づくりの講師は、どの程度の方なのか。

○職員：

市民で、先日の芝久保公民館まつりでも講師を務めた人で、親子3代にわたって田無で関わっていると聞いている。

○委員：

11月23日に東大農場で行ったアースデー2006の会場でも、多くの市民の前で凧を揚げている。地元では名の通った方である。

○委員：

凧の材料費は300円かかるので、持ち帰ってもいいのか。

○職員：

和凧については、持ち帰りの予定だ。凧を作ることと並行して、親子のふれあいと体力づくりも目的にしている。

○委員：

芝久保公の熟年夫婦の講座の感想欄は、高齢夫婦の本音だと思う。東村山の公民館でも同じような講座を行ったということを聞いている。今回は参加が少なく、男性は居なかったのではないかと思うが、今後は、男性を参加者に取り入れて、ぜひ女性の思いを伝えるべきだと思う。

○職員：

今回の参加者の男性は1人で、私も男性参加者のつもりで加わって意見を述べたりしたが、家庭内の深刻な事情を話すことには抵抗がある。また、知り合いや近所の人がいれば本音で話すこともできなくなるだろうし、運営には結構気を遣った。

○委員：

シルバー人材センターの理事をしているが、夫婦間の相談が増えているということだ。こういう機会に女性の悩みをもっと考えるべきである。

○職員：

年金講座の受講生の数であるが、個別具体的な話を聞くことになると、この程度の人数が適当との判断である。

○委員：

田無公の世界料理教室だが、経験をさせるということは良いことだと思う。しかし、あまりに人数が少なくて残念だ。

○委員：

参加費の問題があるのではないか。シンガポール料理の800円も高いと思うが、チヂミも500円では…。

○委員：

この計画書が出たときにも、800円は高価なのではないかという話をしたと思う。今回の500円も、親子で参加となると1千円では躊躇すると思う。

○職員：

値段の問題だけではないと思っている。

○委員：

このときは、田無小の展覧会と重なっていたのではないか。この時期の土日は、どの学校も行事を行っているので、無理が多いと思う。

○委員：

住吉公のこどもいろいろ体験の料理教室は、定員オーバーをするときもあるのに、田無はいつも少ないようだが、工夫が必要なのではないか。

○職員：

このことは職員間でも話題になり、PR文を子供向けにしたり、ポスターから子供が読めないような文字をなくしたりする工夫をし始めたところである。もっとこどもに身近に感じられる事業にしていきたい。

○職員：

保谷公の柳沢アカデミー「情報発信ゼミ」だが、12月22日が一応の最終回になる。既に番組の収録・放送も終わり、反省会を残すのみになっている。6人の参加者を得て、順調に番組作りもできたことは満足している。企画書を提出したときにも記入しておいたことだが、参加者の意向次第で、これで終わりにするか、暫くは続行するのかは報告するというにしていた。

最終回に今後の予定を話し合うことになってはいるが、既に多くのメンバーはもう1作品程度は制作してみたいという意思を伝えてきている。その旨報告しておくので、了解して欲しい。

○委員：

谷戸公の高齢者とペットの講座は、参加者が少なかった。ペットを飼う人は多くいるのにこの人数ということは、私はタイトルが良くなかったのではないかと推測する。タイトル次第では人気の講座になったやもしれないと思う。

○職員：

募集がスタートしても参加人数がふえなかったため、近所の公園でペットと散歩する市民にチラシを配付したが、効果はなかった。もっとわかりやすいタイトルにするという工夫も必要なのかもしれない。内容は良かっただけに残念なことをした。

○会長：
他になければこの程度にしたい。

3. 公民館だより編集室報告

○委員：
12月5日に編集会議を開催した。
12月号の反省。クリスマスコンサートの1面の写真が大変暗かった。コンサート自体への問い合わせは多くあったという連絡はあったようだ。今回の反省に立ち、印刷色の変更をしようという意見にまとまった。具体的な色については、今後の課題だ。

1月号の1面は、芝久保公の小さな展示会、小林すみ子氏という市民が国際的な展覧会で表彰を受けての展示会ということなので取材した。サークル訪問は、柳沢マジッククラブ、4面に奥田委員の訃報を掲載する予定だ。

2月号の1面は環境講座の報告。サークル訪問は、男の料理サークル・コンベックだ。

○委員：
印刷色についての意見が出ているようだが、現在の緑色は、年齢によっては大変見づらい色である。高齢者の目の衰えに対処すべきと思っている。

○委員：
緑は、目に優しいと考えていたが、意見を参考にしながら選定したい。

○会長：
他に質疑はないか。

4. 第44回東京都公民館研究大会の報告

○会長：
先日の大会の報告を分科会ごとにしてほしい。

○職員（第1分科会）：
自治体の行政改革、がテーマである。主に指定管理者制度について学んだ。NPO法人が女性センターの指定管理を受けている大田区の事例と助言者からドイツでの社会教育施設の運営の事例報告を受けて、グループ討議も短時間だが行った。都内では指定管理で運営している公民館がないために、私も含めて参加者は「指定管理者制度がどういう影響があるのか」ということについては、結論付けることはできないまま散会した。

○委員（第2分科会）：
団塊世代の地域デビュー、がテーマである。小金井市のNPO法人での事例と、東村山市の公民館の事例を題材にグループ討議を中心に進行した。たまたま先ほどの事業企画書のときにも話題になったが、核家族化が進行する中での夫婦関係の再構築について資料を提出されたが、残念ながら触れる時間はなかった。

○委員（第3分科会）：
知的障害者学級、がテーマである。助言者が行った全国調査の結果報告を受け、幾つ

かの各地での事例などを学んだ後に、なぜ障害者学級を公民館が行うのか、ということグループ討議した。23区と多摩地区の公民館での学級の差異について話を聞くことができた。23区では公民館がないために、学校で行っている区もあるようで、どうしても学校の延長になってしまうようだ。地域で行う必要性を感じた。

○委員（第4分科会）：

思春期の家庭教育支援と公民館、がテーマだ。小金井市と立川市の事例を確認した。小金井市では、男女共同参画事業として、乳幼児を育てるパパママを対象にした講座と、思春期の子育てをする親を対象にしたものを分けて開催しているということだ。立川市の事例は、家庭教育講座で、犯罪の低年齢化の問題を全館で取り組んだようだ。乳幼児やその親を対象にする講座はどこでもあるが、小学生高学年、中学生を対象にしたものは少ないので、取り組んでいるとの報告だった。

○委員（第5分科会）：

公民館の原点に立ち戻るがテーマであった。福生市と小金井市の事例報告を受けた。福生市の事例は、かなりレベルの高いものであったが、利用者も活動する上では能力が必要であるということ述べていた。小金井市の例は、NPO法人が行っている「江戸野菜で元気に」というもので、公民館と地域と大学の共同による事業の報告で、大変身近に感じた。公民館の役割は、コーディネート役に徹するべきであるということ強調されていた。その後、グループ討議を行ったが、学び、地域、協働をキーワードとした。助言者からは、次の世代へのつなぎの必要性、地域の無共同化の現状を受けて、公民館が地域づくりを担う必要性を説いた。あわせて、若者の発言をどう受け止めるかについてもアドバイスもらった。

○職員（第7分科会）：

市民が育つ公民館だより、がテーマであった。月刊社会教育の副編集長が講師でワークショップ形式で分科会を行った。まず、昭島市と国立市と埼玉県富士見市の公民館だよりについて報告を受けた。その後、全員がグループに分かれて、実際に新聞作りを体験した。時間の関係で、30分で公民館だよりを作るという作業であったが、大変参考になった。また、各市の情報や実際のだよりを見ることができて良かったと思う。今後に生かしたい。

○委員（第8分科会）：

地域に生かす高齢者の学び、がテーマであった。全体会が延びてしまったために、結果的に3市の事例報告の時間が短くなったことは大変残念。私がこの分科会に参加したのは、西東京の事例報告があったからで、田無公民館の職員の努力により、毎回の講座後に発行される新聞のリレー小説、全員が川柳を作ることなどが報告され、最も多くの質問を受けた。助言者からは、公民館に行こうか、どうしようかと躊躇している人を迎え入れることのできる施設になって欲しい、というアドバイスが印象に残った。公民館を若い人の居場所にといい意見も多いが、一人暮らしの高齢者に対する施策も必要なことであると感じた。

○会長：

全体的にみても、西東京市からの参加者数はかなり多い方であったと思う。今の報告を聞いていても、それぞれ参考になったのではないかな。来年の大会も積極的に参加して欲しい。

暫時休憩する。

(19時34分休憩)

(19時45分再開)

(3) 協議事項

1. 諮問事項について

○副会長：

今からグループ討議をお願いする。その前に、席上に今後の答申作りの目安を示したので確認したい。

グループ内の話し合いは今日で終結して、来月は、ここまでのグループ内の議論を起草委員に引き渡せる程度にまとめる作業を初めて欲しい。まとめた内容を2月定例会で発表してもらうので、各座長は、2月16日頃までにグループのまとめを公民館に提出して欲しい。また、来月の会議では、起草委員の選任を予定している。

具体的な答申文の作成は、2月定例会以降、起草委員によって進めてもらうことになる。3月に中間報告を受けて、4月18日には答申することになる。なお、3月定例会の日取りだが、予定の21日は祝日なので、予定どおり行うかどうかを決めて欲しい。

○委員：

1週繰り延べることを提案したい。

○副会長：

ただ今、そのような提案があるが、異議ないか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

では、3月定例会は、3月28日に繰り延べることにしたい。

グループに分かれて欲しい。暫時休憩する。

(19時50分グループ討議開始)

(20時42分全体会議再開)

○副会長：

再開する。

○会長：

今後は、新たな話し合いでなく、グループ討議のまとめの作業に入る。今日の議論の内容を含めて、グループ討議のまとめは、2月定例会で発表できるように準備を進めて欲しい。

○副会長：

本日は、この程度にしたい。

(4) 事務連絡および情報交換

○職員：

本日午後に都公連役員会が開催された。委員に關係する情報のみ提供しておきたい。
第3回委員部会は、1月27日午後に町田市で開催される。千葉大の長澤教授を招いて、指定管理者制度についての学習会を行う予定だ。都公連主催の委員対象研修は、2月15日に東久留米市で開催予定だ。いずれも、チラシが届き次第再連絡する。

来年度の第45回公民館大会は、2007年12月16日に昭島市民会館での開催が決定した。

次に、都公連定例総会は、4月18日水曜日に町田市公民館で行われる。以上だ、いずれの機会も積極的に参加して欲しい。

(5) 次回の日程について

1月17日（水曜日） 18時30分

於：田無公民館 第2学習室